

北海道釧路湖陵高等学校（全日制） 平成30年度学校経営方針

【校訓】 誠 ・ 愛 ・ 勇

学 校 教 育 目 標

- (1) 高い学力と幅広い社会性を身に付けた、将来のリーダーとなり得る人材を育成する。
- (2) 主体的に思考・判断し、適切に対話することができる、創造性あふれる人材を育成する。
- (3) 個人と集団の調和を保つことのできる、自律的かつ調和的な人材を育成する。

1 重 点 目 標

- (1) 全ての生徒に基礎・基本を確実に定着させ、高いレベルの学力を育成する。
- (2) 生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、全校体制でその実現に努める。
- (3) 心身の鍛錬を通じ、自他を尊重するとともに社会に貢献しようとする、強固な精神力を持つ人材を育成する。

2 経 営 方 針

- (1) 理数科・普通科併置の特色を活用し、生徒のニーズに応じた多様で高度な学習を実現する。
- (2) 本校の進路指導理念として継承されてきた「志を高く持ち、易きに流れない」という基本的な考え方を生徒・保護者・教員の全てが共有する。
- (3) 基本的な生活習慣を確実に身に付けさせると同時に、生徒個々の心に寄り添い、健やかで生き生きとした学校生活を送ることができる環境を形成する。
- (4) 学校行事や部活動を重んじ、社会人として通用する高い人間力を育てる。
- (5) 保護者・地域との連携を強め、地域に開かれた学校づくりを推進する。
- (6) 校務の平準化・効率化を進め、教職員の労働環境を整備する。

3 教育課程編成の方針

- (1) 湖陵生として期待されるレベルの学力の実現を図るとともに、生徒の能力、適性、進路希望等に十分配慮した教育課程の編成・実施に努める。
- (2) SSHに伴う学校設定教科・科目の効果的かつ創造的運用に努め、理数科・普通科双方に最大限の効果をもたらすべく、全ての教育活動を視野に入れた教育課程の改善に努める。
- (3) 研究指定事業の成果を着実に学校全体に定着させ、恒常的なカリキュラムマネジメントに努める。

4 指 導 上 の 重 点 事 項

学 習 指 導	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の主体的かつ協働的な学びを推進するため、アクティブ・ラーニングに関する研修と取組を更に継続し、その成果を発信する。 2 コンピテンス基盤型教育を推進するため、全ての教科・科目がコア・コンピテンシーの育成を目指すとともに、各教科・科目は各自が育成するコンピテンスを明確化し、ルーブリックを効果的に活用して指導と評価の一体的な改善を目指す。
生 徒 指 導	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の主体性と協働性の育成をめざし、考えさせる指導を重視する。 2 生徒会活動等の特別活動や部活動を通じて自発性、創造性、社会性を養い、高い人間性を育てる。 3 正しい人権感覚を育て、改訂した「いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめのない学校作りを推進する。
進 路 指 導	<ol style="list-style-type: none"> 1 3年間を見通した進路指導計画を確立し、学年と進路指導部が中心となり、全職員の理解と協力によって生徒の進路実現を図る。 2 進路指導部が中心となり、全職員が高大接続改革の動向を確実に理解し、その対策の検討と生徒・保護者への効果的な周知に全力をあげる。 3 SSHや医進類型事業等の取組を活用し、生徒のキャリア意識の醸成に努める。
健 康 ・ 安 全 指 導	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の不安や悩み等の早期理解に努め、保護者や関係機関との連携を強めながら、学校生活の安定を図る。 2 様々な災害に対する啓発を計画的に実施し、防災・減災への意識を徹底する。 3 教育活動のあらゆる機会を活用して、生涯にわたって自他の生命や健康の尊さを深く認識させる。